

第 31 回「関東地区会」定例研修会のご案内

主 催：日本人間関係学会 関東地区会
実施日：平成 29 年 7 月 29 日（土）14 時～17 時
会 場：越谷市サンシティホール小会議室
担 当：杉本 龍子

本年度テーマ：「支援者としての困難と克服」

－自分自身が挫けないための方法を見出す－

「ヒューマンリレーション・スキルトレーニング」(Human Relation Skills Training)=HRST」

本会の小テーマ「社会福祉領域におけるさまざまな問題と家族への支援」

～在宅医療を支える人間関係士としての役割～

資格研修（更新）講座（選択講座 B - 2）

<趣旨>

在宅医療が推進されている現代社会の中で身近な人がその状況を迎え対応に困っている。看護師資格をもつ人間関係士としてどのようにしたらよいのか方策をともに考えたい。

<展開>

I 部（14:00～15:00）テーマに基づく話題提供（話題提供者：杉本龍子）

1. とともに考える事例 小山三郎、早坂三郎監修:人間関係ハンドブック,p169～170,2017.3.10,福村出版

(トピック) 事例: 胃がん末期の男性。手術不応と告げられ化学療法を受けている

A氏、50代、男性、胃癌、肝臓に転移がある。身長173cm、体重45kg、妻50代、息子(高3)の3人暮らし。職業は運送会社勤務である。2か月前ごろから身体がだるくて疲れやすくなり、近くの医院を受診した。検査の結果進行度が高い胃がんが肝臓に転移していることがわかり、手術を勧められて入院した。予想以上に進行したがんで手術は適応とならず化学療法で治療が進められた。抗がん剤の作用で発熱、吐き気が強く、イライラしているため、4人部屋から2人部屋へ転室した。「働きづめで働いてきたので、回復後は田舎へ帰って畑仕事をしたい」と話している。妻は患者だけを頼りにしてきたので、経済的にも精神的にも不安がある。

2. 「支援者としての困難と克服－自分自身が挫けないための方法を見出す－」

～在宅医療を支える人間関係士としての役割～について、

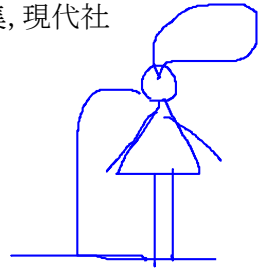
私は看護の対象(人間関係としての対象も同義)のみかたを一貫して下記の4方向からみてとれるようになったことで、支援者としての困難と克服—自分自身が挫けないための方法を見出す—ことができるようになってきていると確信しています。

守秘義務等の課題が山積するが対象であるその人の生まれ育った年代、地域、家族など僅かな事実からでも類推は可能と考えます。

3. 根幹になっている理論

文献 湯楨ます、薄井坦子、小玉香津子他訳:看護覚え書, ナイチンゲール著作集, 現代社
薄井坦子:科学的看護論, 日本看護協会出版会.

- 生命力をアセスメントするとは、生きる力、生活する力、人とかかわる力、支える力の4方向からみてとる。
- 人間とは ①からだ、②ところ、③社会関係、④生活過程をみる。



Ⅱ部 (15:10~16:30) 話題提供に基づく心理劇的場面の構成

(監督: 杉本龍子、杉本太平)

○身近な人ががんになったら・・・事例の本人、妻、息子の立場で心理劇を行う

Ⅲ部(16:30~16:50) シェアリング・まとめ

以上

※終了後、懇親会 (17時30分~2時間程度・新越谷駅近郊) を予定しておりますので、皆様、奮ってご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

<役員会>

当日、13時~14時まで役員会が開催されます。

<連絡・問合せ先>

関東地区会 杉本太平 (宇都宮共和大学)

Eメール taihei_sugisan@yahoo.co.jp

FAX 番号 048-977-8567



○会場: 越谷市サンシティホール小会議室

住所 343-0845 埼玉県越谷市南越谷 1-2876-1 代表 048-985-1111

アクセス JR 武蔵野線「南越谷駅」南口徒歩 3分/東武伊勢崎線「新越谷駅」東口徒歩 3分

※当日迷いましたら、杉本携帯 (090-4393-1305) にご連絡下さい。

<次回 定例研修会のご案内>

開催日: 平成 29 年 9 月 23 日 (土) 14 時から

開催場所: 越谷市サンシティホール小会議室